

●今月の法語カレンダー●
釈迦は慈父
弥陀は悲母なり

親鸞聖人の書かれた『唯信鈔文意』からのお言葉です。「釈尊は慈しみあふれる父であり、阿弥陀仏はあわれみ深い母である。その私たちの父・母は、自力にとらわれるものを真実に導くさまさまな手だてを施して、この上ない他力の信心を開きおこしてくださったのだと心得なさい」と示されます。4月8日は「花まつり」、釈尊のお誕生日です。今月の法語を心に、父母となり導き、正しく生きる道を教えて下さったご恩に感謝し、皆さんでお祝いしましょう♪



「やすらぎ堂」
説明会&相談会

完成したばかりの天真寺の永代合葬墓「やすらぎ堂」(大町やすらぎパーク内)に、関心を寄せて下さる方が多くいらっしゃるようです。今までのようなお墓の継承は難しくなり、またお墓に対する考え方も変化しています。一人が抱える悩みは、

皆さんに共通する悩みです。この度第2回目の説明会を行い、また心配がある方には相談を承ります。ぜひ足を運び、どんなことでもお気軽にお尋ね下さい。
【日時】
4月3日(土)午前11時
天真寺2階和室にて
※お詫び 前月の案内に誤りがあり、ご迷惑をおかけしました。



定例法座のご案内

仏法は聴聞にきわまります。自らの心を、そして歩む道を、阿弥陀さまの智慧と慈悲に照らして聴かせていただきます。

3月～5月にご命日を迎えるご縁の方がいる場合は、過去帳をお持ち下さい。尊前にお供えしお参りいたします。

■日時 4月20日(火)
午前11時～ 写経教室
午後1時半～3時半(お参り・ご法話・茶話会)
■法話 七里順量師
(本願寺派布教使・草加市超光寺住職)

今月は熱い思いで阿弥陀さまのお話をお伝え下さる、とてもパワフルな先生です。お坊さんのボランティア団体である「仏教情報センター」では、相談員として多くの方の悩みに応えています。季節もよく、あたたかな日よりとなります。ぜひお寺に足をお運び下さい。

4月の予定

- 3日(土)午前10時 納骨堂合同参拝
- 3日(土)午前11時 「やすらぎ堂」説明会
- 4日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 4日(日)午前8時半 抹茶を楽しむ会
- 6日(火)午後1時半 踊り教室
- 9日(金)午前11時 れんげ会 総会&昼食会
- 10日(土)午後2時 グランドゴルフ
- 11日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 14日(水)午後12時半 ヨーガ教室
- 17日(土)午後3時 雅楽教室
- 18日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 20日(火)午前11時 写経教室
- 20日(火)午後1時半 定例法座

24日(土)午後3時 壮年会

- 「お正信偈」を学んでいます
- 25日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 25日(日)午後1時半 門信徒会役員会
- 27日(火)午前9時 グランドゴルフ
- 27日(火)午後1時半 踊り教室
- 28日(水)午後12時半 ヨーガ教室
- 30日(金)午前9時 ボラン寺(寺報発送作業)
- 「ご協力お願いいたします」

5月の主な予定

○永代経法要 16日(日)

「親鸞展」開催!
4月28日～5月10日
日本橋三越本店にて
多様な展示物で構成する親鸞聖人の世界が楽しめます



食前のことば

親鸞聖人750回大遠忌にあたり、「食前・食後のことば」が新しくなりました。食事時におとなえしましょう。今月同封のちらしをご覧ください。



「合掌」

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。(一同)深くご恩を喜び、ありがとうございます。

食後のことば

「合掌」
尊いお恵みをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます。(一同)おかげで、ごちそうさまでした。



「いただきます」の心

「人間は生きるために、鶏も殺さなくちやいけないし、豚も殺さなくちやいけない。生きるってことは、ずいぶ

ん迷惑をかけることなんだなあ」

これは農地試験所を訪ねたあとに書かれた、ある小学6年生の作文の一節です。毎日あたりまえのようにしていた食事が、こんなにも多くの「いのち」をいただいていたのかという驚きと申し訳なさの気持ちがよく表されています。

お腹が空いたからと、なんとも思わずに口にした食べ物は、みんな私を生かしてくれる一つ一つの尊い「いのち」の犠牲の上にあるのです。

ですから、私の「いのち」は私の所有物ではなく、多くの「いのち」に支えられ生かされていることを仏さまは教えてくださっています。手を合わせ、ご恩と感謝の気持ちをお忘れなないようにしたいものです。



(伝道資料センターより)

「永代経法要」

のご案内

相談受付中



5月16日「永代経法要」を厳修します。これは「門信徒総追悼法要」ともいふべきご法要で、天真寺有縁すべての方のために営まれるものです。

永代経とは、お寺で永代にわたりお経が上がるようにとのお心から懇志を納めていただくことです。今後代々にわたる法事をつとめることが難しくなった等でも、天真寺過去帳、また法名軸に記名し、毎年法要をつとめます。本年度に永代経をお考えの方がいらつしやいましたら、相談下さい。

待ちに待った！

講師は広島県の福岡義朝先生です。若住職・龍哉の師匠で、最も尊敬する先生です。五年間待つて、やっと当寺へのご出講となりました。ぜひお聴聞下さい。

静香のスタディーツアー インド紀行I



2月末「NGOアーユス仏教国際協力ネットワーク」のスタディーツアーに参加し、インドに行ってきました。訪れたのはブツダガヤ、お釈迦様が悟りを開いた仏教の聖地です。お釈迦様は6年間の苦行の後、ブツダガヤの菩提樹の下で悟りを開かれました。現在で何代目かになつた菩提樹が残り、「大菩提寺」と呼ばれる大きな塔が立っています。そしてそこを中心し、日本寺・ネパール寺・タイ寺と各国各宗派のお寺が建ち並び、たくさんのお僧侶が行き交っています。仏教の生まれた土地という雰囲気も味わえる所ですが、実はそこに住む人々の生活はとても苦しく、ブツダガヤのあるビハール州はインドで最も貧しい州なのです。



宿泊は日本寺。ここは宗派を超えた日本の仏教団体が運営し、若手の僧侶が二人ずつ交代で駐在をしてお寺を護っています。宿坊がありますが、現在閉まっているとのこと。私たちは特別に泊めてもらったため、きつと久しぶりのお客さんだったからでしょう。部屋に入ると数百匹という蚊の群のお迎えを受けました。インドでは虫除けスプレーが必需品です。



インドは現在もカースト制度が残り、教育や職業、また住む場所などで差別を受けています。さらには「アウトカースト」、すなわちカースト制度にも入ることができない「不可触民」という階層があり、より厳しい差別を受けているのです。私は今回、その人たちの教育状況について学んできました。(続く)



天真寺の墓地 「大町やすらぎパーク」

北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地です。ご希望の方は、お気軽にご相談下さい。



完成しました！ 「永代合葬墓」

やすらぎ堂



大町やすらぎパーク内
納骨懇志20万円から

あんのん堂



京都大谷本廟内
納骨懇志30万円から

永代にわたり天真寺が管理いたします。以後の管理料等は一切かかりません。お念仏の心を次の世代に伝える依りどころとして…。跡継ぎがない方には、安心をかたちにして…。

天ちゃんの一言



お寺の玄関に置いてある募金箱を開け、「ハイチ大地震」本願寺たすけあい募金」に、3月23日、合計¥11946円の寄付を行いました。お心を寄せ下された方には、心より感謝申し上げます。引き続き募金箱、並びにペットボトルのキャップ、書き損じのハガキ、使用済み切手などを集めています。ご協力よろしく
お願いいたします。



門信徒会入会のご案内
どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。

(発行元)

浄土真宗本願寺派 天真寺

千葉県松戸市金ヶ作1006

047-389-0808

【ホームページ】

<http://www.tenshin.or.jp>

「れんげ会」(仏教婦人) 総会

【日時】4月9日(金)午前11時~3時
お参り・ご法話・総会・楽しい昼食会と茶話会

会員募集中!



お友達をたくさん作って、お寺参りを楽しくしましょう。初めての方も大歓迎です！どうぞ気軽にご参加下さい。年会費¥1000円。門信徒の女性ならどなたでも入会できます。

活動報告

★無事つとまりました

雨が上がり柔らかな春の陽差しの中、無事「春季彼岸会」を営み、満堂のご参拝の方々とお参りしました。

講師は昨年と同じく富田富士也先生です。「人を思うことは、人を信じること。大事なのは過去でもなく未来でもなく、今。気づいた今から「はじめの一步」を踏み出しましょう。どんな年代でも、「還る家」を持つことが大切です。「家」とは建物ではなく、あなたをありのままに迎えるくれる家族や友人、そのつながりです。あなたは「還る家」がありますか、あなたは誰かの「還る家」になっていますか。誰でも抱える孤独やさみしさをあなたのかい言葉で包み、阿弥陀さまのお慈悲に触れる有り難いお話でした。



★天ちゃん復活

お参りの方に可愛がってもらっていたら、まゆ毛が取れるハプニングが発生。その後皆さんに心配されていましたが、無事元通りになりました！



★れんげ通信

先月2日教区の研修会に参加し、築地別院をお参りしました。また10日茨城で開かれた「親鸞展」茨城滞在20年の軌跡」を拝観し、唯一現存する直筆の『教行信証』を拝見しました。墨で添削を重ねた跡にご苦労が偲ばれ、感動しました。



★玄関扉が直りました

長い間不具合でご迷惑をかけておりましたが、この度門信徒・三森さんのご紹介で、修理していただきました。お礼申し上げます。